

1 公園全体図

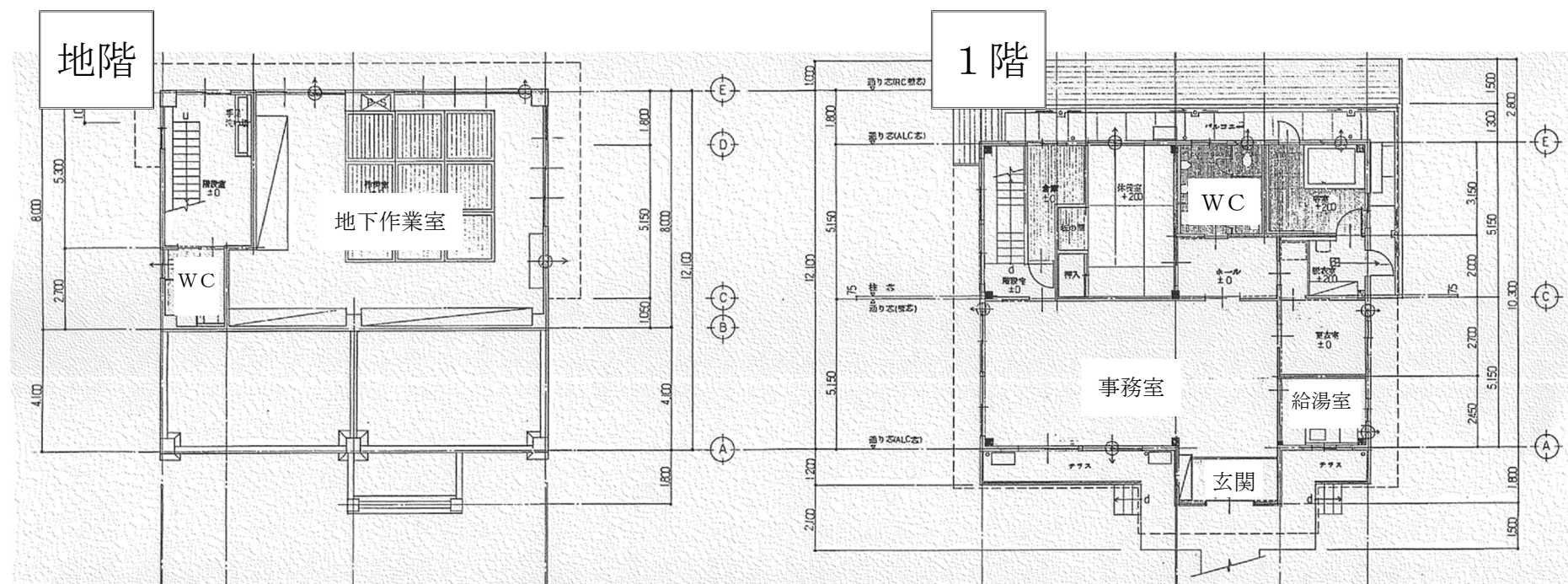


※ 赤破線枠内：試行的利用対象部分 青枠内：試行的利用対象外部分

2 旧公園管理事務所棟及び車庫棟（概略平面図）



3 旧公園管理事務所棟平面図



4 公園概要

(1) 公園基本情報

公園名	船岡山公園	設置年度	昭和 10 年度
所在地	北区紫野北舟岡町 42 他		
公園種別	地区公園	面積 (㎡)	56,284
主な施設	・ 野外音楽堂 ・ 遊戯広場：遊具（滑り台，ブランコ，シーソー，砂場等） ・ 広場 ・ 旧公園管理事務所棟（店舗やイベント等に活用可能） ・ トイレ 等		
アクセス	京都市営バス「船岡山」 徒歩約 2 分		
駐車場	なし		
関連計画等	・ 船岡山を活かした魅力創出事業 https://www.city.kyoto.lg.jp/kita/page/0000283611.html ・ 船岡山公園眺望景観再生事業 ・ 西陣を中心とした地域活性化ビジョン～温故創新・西陣～ https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000264270.html		
提案対象エリア	赤柾内（青柾内除く。）		
利用可能インフラ	旧公園管理事務所内：電灯用電源 ※水道，ガス，動力用電源については事業者負担で開栓可 公園内：散水栓		
開園時間	終日		
公園を取り巻く課題	広場以外の低利用，夜間の安心，史跡の保存活用		
愛護会等関連団体	公園愛護協力会が活動中		

(2) 公園区域から 500m の範囲の周辺人口・店舗数

		船岡山公園周辺	本市市街化区域全体
周辺人口	人口（国勢調査結果）	17,005	—
	H27 年 人口密度（人/k ㎡）	11,225	9,105
店舗数	店舗数※（経済センサス）	164	—
	H28 年 人口千人当たり店舗数	9.6	10.7

※ 飲食料品小売，飲食店及び持ち帰り・配達飲食サービス業

周辺人口 年齢層別 構成割合		19歳未満	20～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳以上
	船岡山公園周辺	15.0%	13.2%	23.4%	24.0%	24.3%
	本市市街化区域 全体との差	△1.4%	0.4%	△3.6%	△1.0%	5.7%

(3) 都市計画関連条件

防火・準防火地域	準防火地域
都市計画区域	市街化区域
用途地域	第一種住居地域，近隣商業地域，西陣特別工業地区
高度地区	15m第2種高度地区，15m第4種高度地区
景観保全関係	船岡山周辺特別修景地域，風致地区第2種地域，風致地区第5種地域，沿道型美観地区（幹線地区）
眺望景観関係	視点場，眺望空間保全区域，近景デザイン保全区域，事前協議区域，遠景デザイン保全区域
地区計画	—
建築協定	—
土砂災害警戒区域等	土砂災害特別警戒区域，土砂災害警戒区域
遺跡・文化財等	国指定史跡※

※ 国指定史跡：文化財としての船岡山

船岡山は標高112メートル，その形状が船に似ているため，その名が付いたといわれている。古くから京都北西方を扼する要地であった。

平安中期頃までは，船岡山は清浄の地とされ，疫病除去のための御霊会や子日の遊びなどが行われたが，平安後期以降は山麓西方に火葬場がつくられ，墓所が立ち並び，また刑場となって，船岡山といえは，葬送の場を意味するようになった。

ついで室町中期になると，この山は京都北方の軍事上の要地として，しばしば合戦場となった。

応仁の乱の際には，西軍の一色義道・山名教之がここに堀・陣屋などをつくって，応仁2年（1468年）9月，細川勝元の東軍との間に攻防を繰り広げ，永正8年（1511年）8月には細川高国・大内義興の軍勢と細川澄之・細川政賢の軍勢がここで戦った。

のち豊臣秀吉は織田信長の冥福を祈るため，この地一帯に天正寺を建立しようとしたが，計画半ばにして挫折した。

このような船岡山の歴史上の重要性に鑑み，山麓の人家密集地帯を除き，現在の京都市船岡山公園地域と建勲神社境内地等が国指定史跡名勝天然記念物に指定された。

(4) 公園写真

旧公園管理事務所棟入口



応仁の乱の土塁



小規模な野外演奏場



サイレン塔



広場



山頂広場

